

地方自治法施行令第167条の2第1項第5号 により随意契約をすることができる場合	今回の契約が左に該当すること等の説明
<p>緊急の必要により競争入札に付することができないとき。</p>	<p>1 見積合せをしていたのでは、時期を失し、契約の目的を達することができないことの説明</p> <p>本工事は公用車車庫2階倉庫の什器仕様及びレイアウトが当初予定から変更となったため、照明増設等を実施する工事である。</p> <p>什器や物品の搬入前に工事を行う必要があるため、速やかに契約し工事を行う必要がある。</p> <p>2 特定の者を選定した理由</p> <p>「株式会社川田電機工務店」は、昨年度完成した「岐阜県庁舎公用車車庫電気設備工事」の施工者である。対象建築物の電気設備全体及び今回の施工部分を総合的に最もよく把握する者であり、本契約の目的を達することができるのは、この者しかない。</p>

備考 この様式により難しいときは、必要な事項を含む適宜の様式によることができる。